

兵庫県内の市町財政の状況（平成30年度）

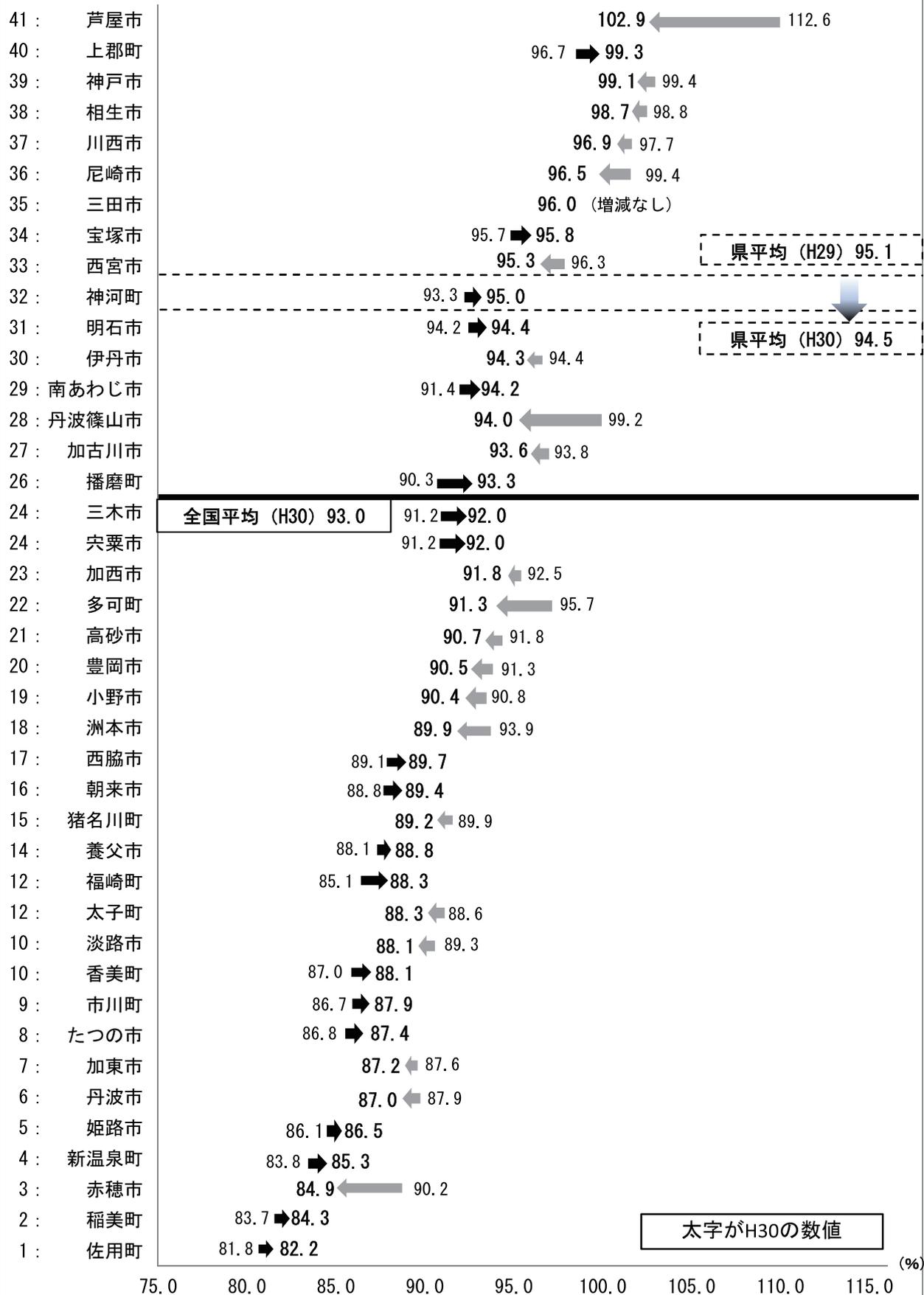
- (1) 経常収支比率の状況
 - 【資料1】 平成30年度
兵庫県内各市町の経常収支比率の状況〈地図〉 …… 109
 - 【資料2】 経常収支比率の対前年度比較 …… 110
- (2) 実質公債費比率の状況
 - 【資料3】 平成30年度
兵庫県内各市町の実質公債費比率の状況〈地図〉 …… 111
 - 【資料4】 実質公債費比率の対前年度比較 …… 112
- (3) 将来負担比率の状況
 - 【資料5】 平成30年度
兵庫県内各市町の将来負担比率の状況〈地図〉 …… 113
 - 【資料6】 将来負担比率の対前年度比較 …… 114
- (4) 税徴収率の状況
 - 【資料7】 平成30年度
兵庫県内各市町の徴収率（個人住民税）の状況〈地図〉… 115
 - 【資料8】 徴収率（個人住民税）の対前年度比較 …… 116
 - 【資料9】 平成30年度
兵庫県内各市町の徴収率（固定資産税）の状況〈地図〉… 117
 - 【資料10】 徴収率（固定資産税）の対前年度比較 …… 118
 - 【資料11】 特別徴収実施率の対前年度比較 …… 119

兵庫県内の市町のラスパイレス指数（平成31年）

- 【参考資料①】 平成31年
兵庫県内各市町のラスパイレス指数の状況〈地図〉… 120
- 【参考資料②】 ラスパイレス指数の対前年比較（平成30-31年） …… 121

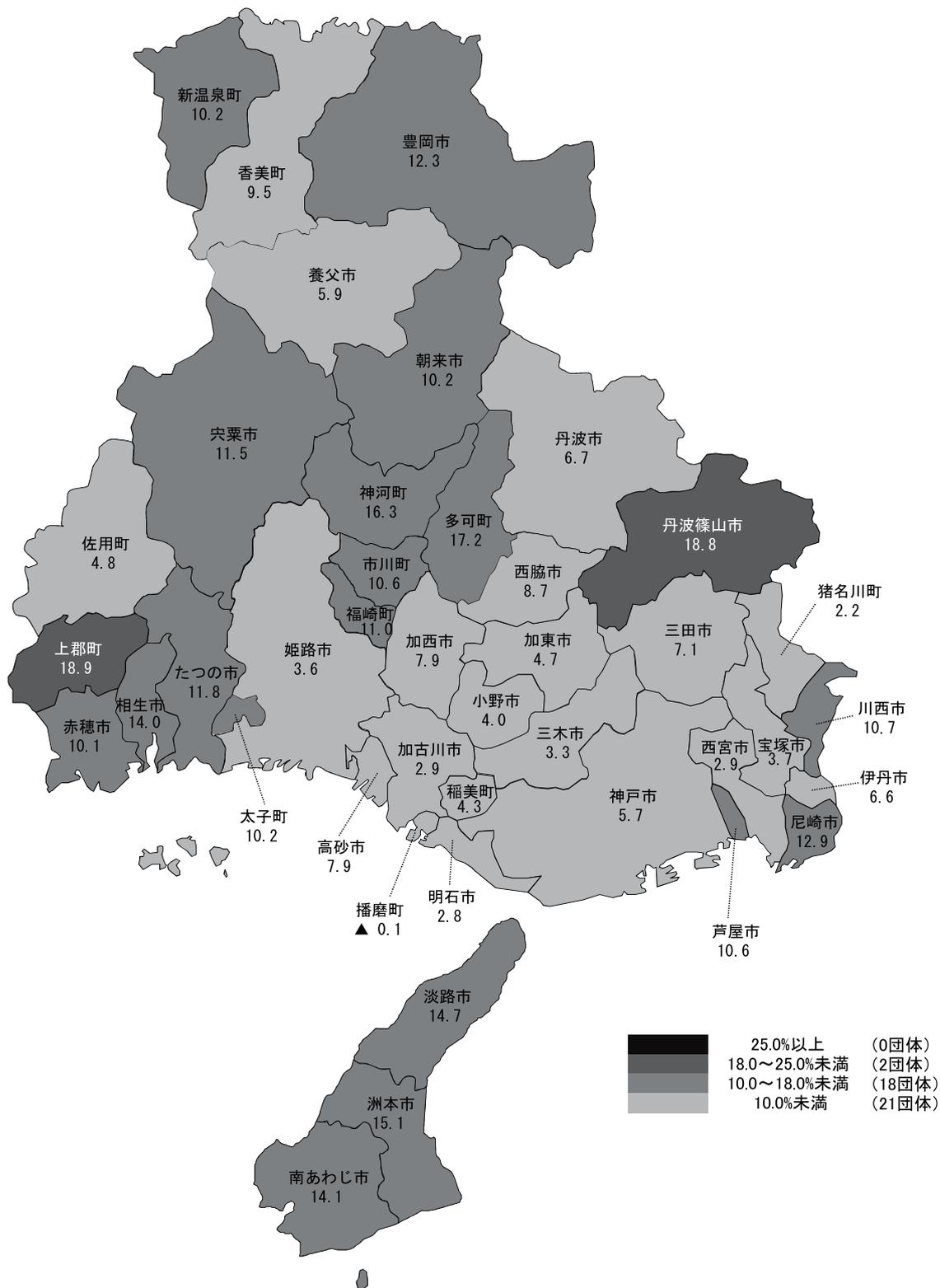
経常収支比率の対前年度比較

- 前年度から比率が減少したのは21団体、比率が増加したのは19団体、1団体が増減なし。
- 最も減少したのは、市では芦屋市(▲9.7)、町では多可町(▲4.4)。
- 最も増加したのは、市では南あわじ市(+2.8)、町では福崎町(+3.2)。



平成30年度兵庫県内各市町の実質公債費比率の状況

- 平成30年度の実質公債費比率の県内市町平均は6.9% (H30全国平均は6.1%)。
- 実質公債費比率が25%以上※1の団体はないが、18%以上※2の団体は、上郡町(18.9%)、丹波篠山市(18.8%)の2団体。
- 実質公債費比率が18%未満※3の団体は、39市町となった。



※1 実質公債費比率が25%以上35%未満の地方公共団体は、早期健全化団体となり、財政健全化計画を策定し、その内容及び実施状況に応じて起債が許可される。

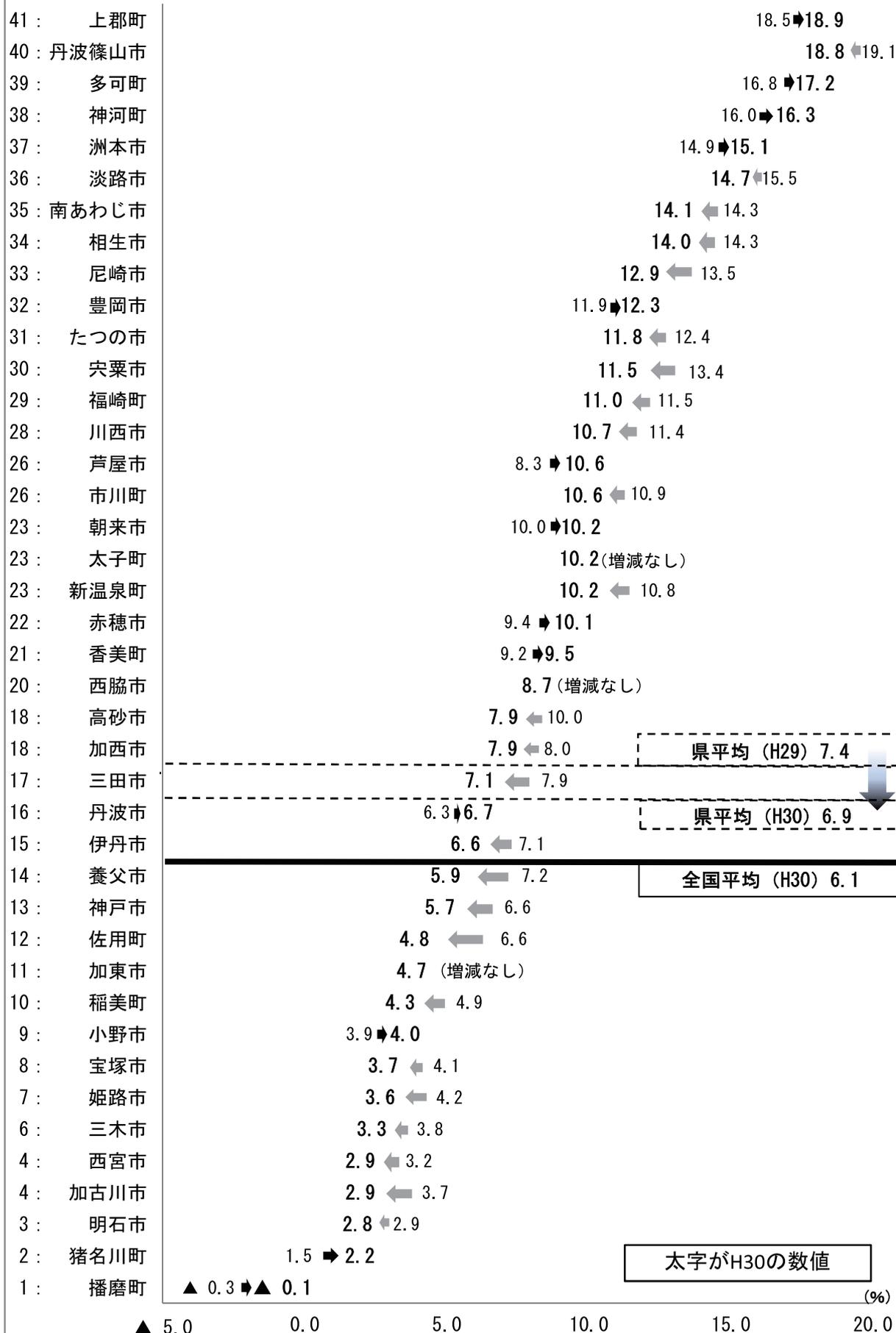
※2 実質公債費比率が18%以上25%未満の地方公共団体は、公債費負担適正化計画の内容及び実施状況に応じ、起債が許可される。

※3 実質公債費比率が18%未満(実質赤字額・連結実質赤字比率が0、将来負担比率350%以下等)の地方公共団体は、民間等資金の起債にあたり、原則として協議が不要となり、事前届出となる。

実質公債費比率の対前年度比較

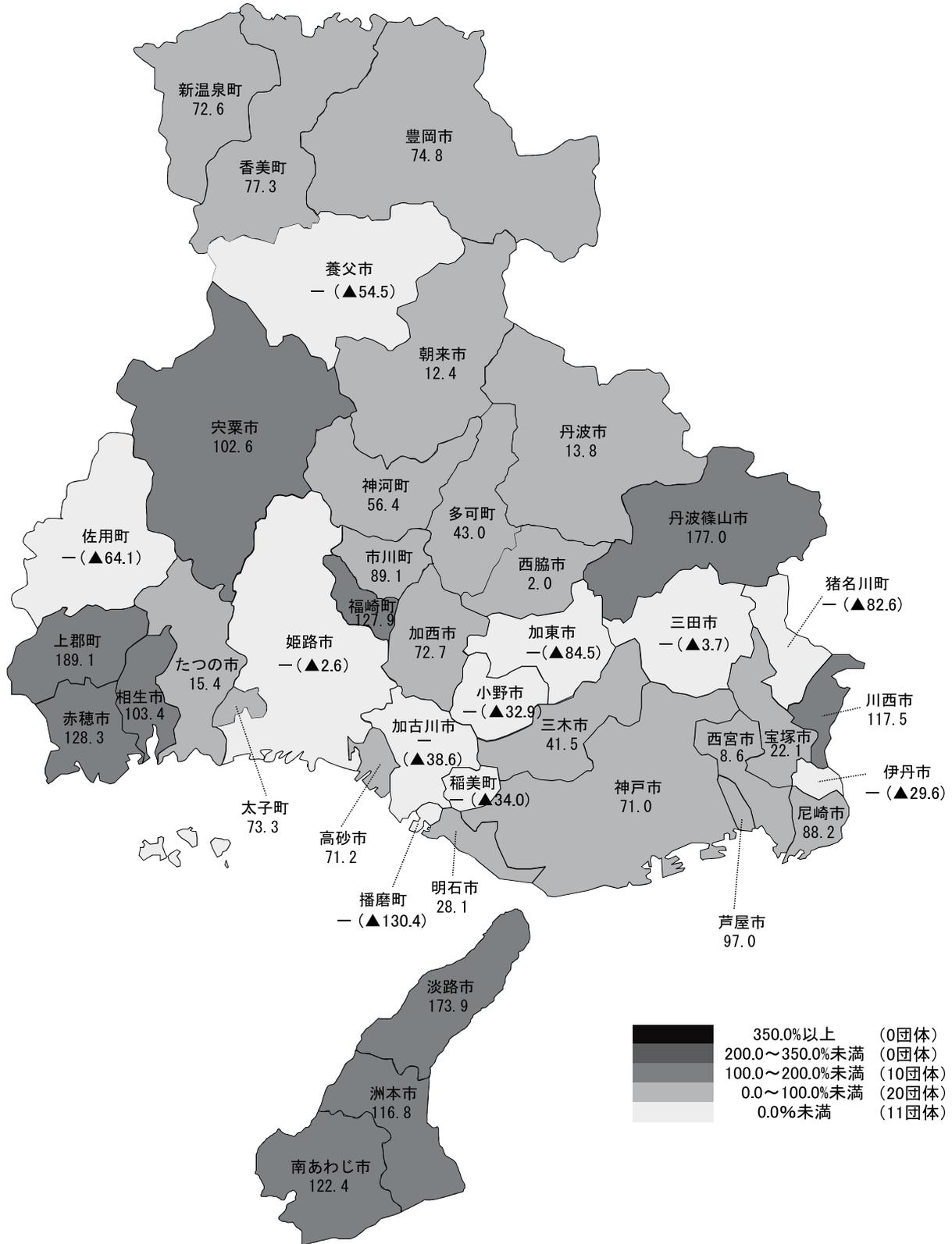
【資料4】

■前年度から比率が減少したのは25団体、比率が増加したのは13団体、3団体が増減なし。
 ■最も減少したのは、市では高砂市(▲2.1)、町では佐用町(▲1.8)。
 ■最も増加したのは、市では芦屋市(+2.3)、町では猪名川町(+0.7)。



平成30年度兵庫県内各市町の将来負担比率の状況

- 平成30年度将来負担比率の県内市町平均は46.7% (H30全国平均は28.9%)。
- 将来負担比率が350%以上(早期健全化団体)^{※1}の団体はない。0.0%未満の団体は加東市、播磨町など11市町。



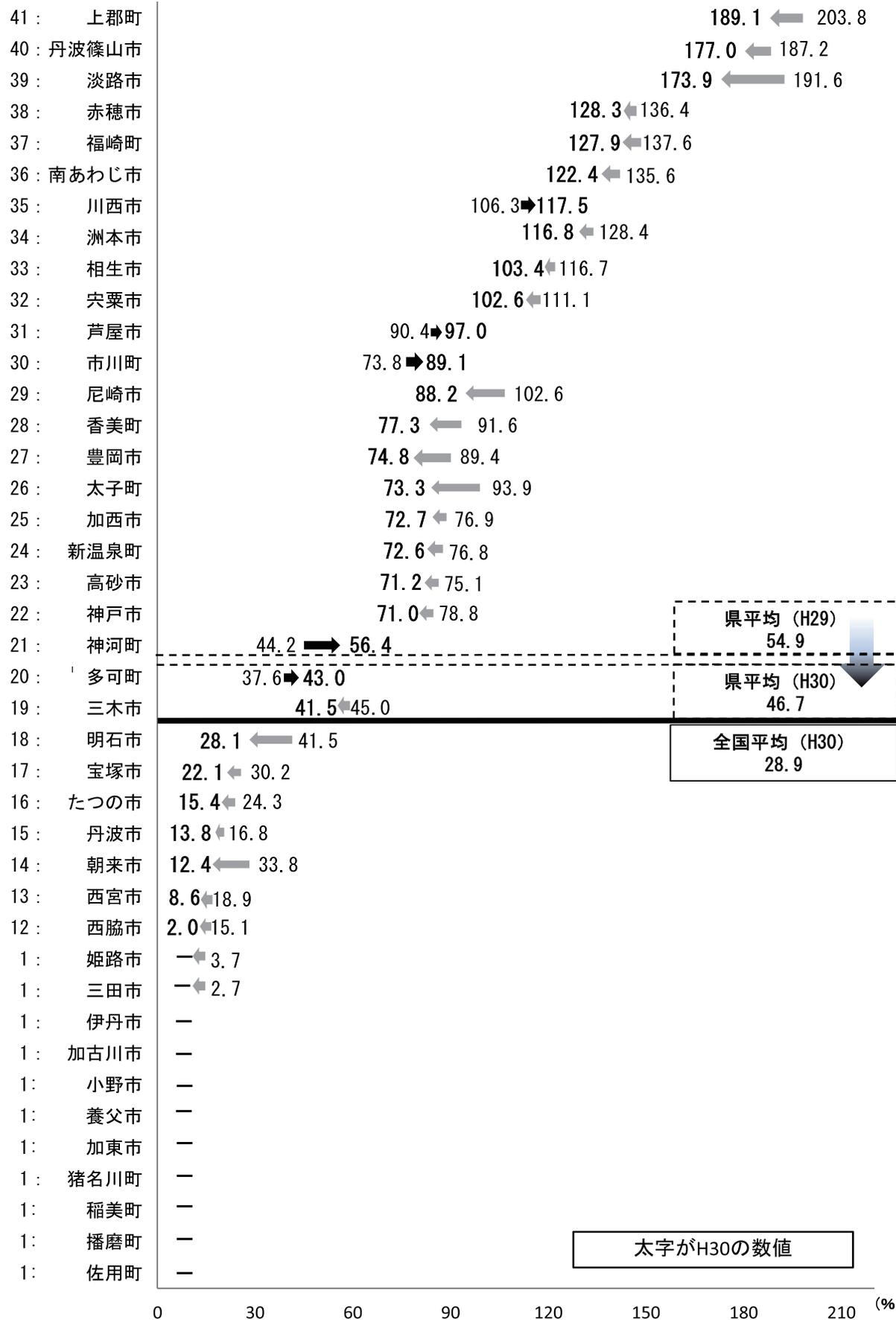
※1 将来負担比率が350%以上(政令市においては400%以上)の地方公共団体は、早期健全化団体となり、財政健全化計画を定めなければならない。

※2 将来負担比率について、公債費充当可能財源等が将来負担額を上回るため比率が算定されない団体は、「-」で表示。(括弧書きで、公債費充当可能財源等の超過率を参考表示。)

将来負担比率の対前年度比較

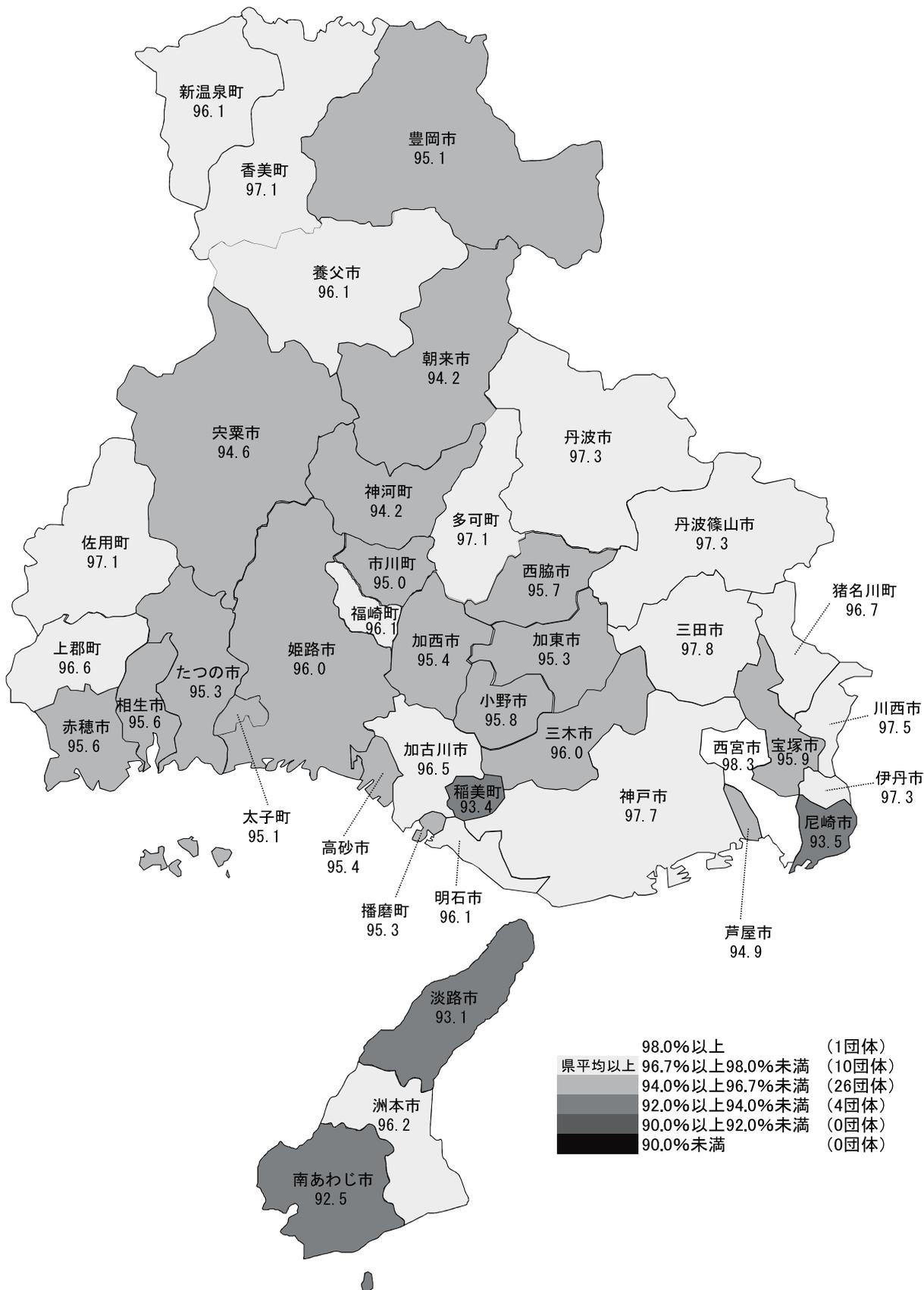
【資料6】

- 前年度から比率が減少したのは27団体、比率が増加したのは5団体。
- 最も減少したのは、市では朝来市(▲21.4)、町では太子町(▲20.6)。
- 最も増加したのは、市では川西市(+11.2)、町では市川町(+15.3)。



平成30年度兵庫県内各市町の徴収率(個人住民税)の状況

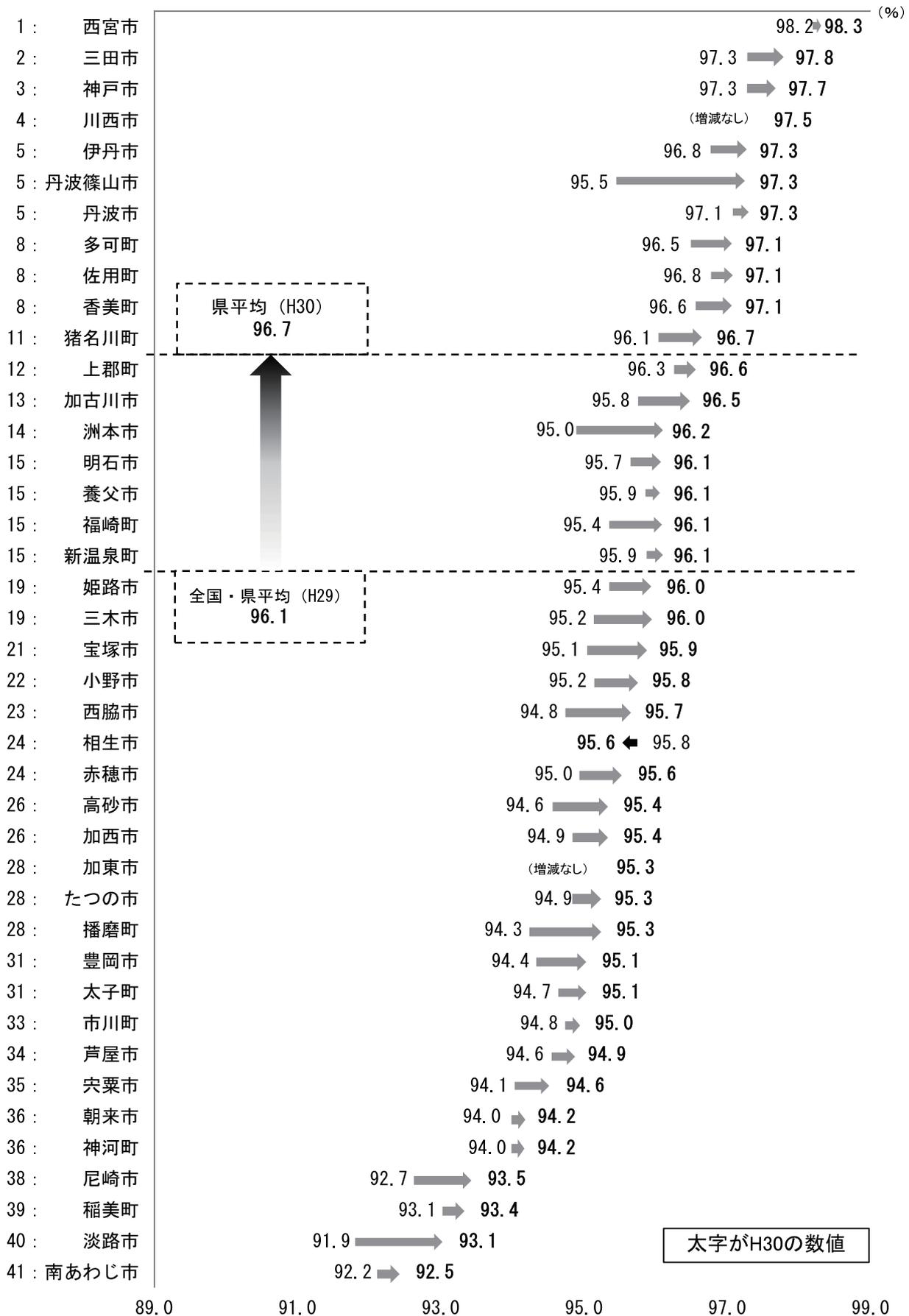
- 徴収率の県平均は96.7%(H29県平均96.1%)
- 県平均を超えているのは11団体(H29県平均を超えていたのは18団体)
- 徴収率が最も高い団体は、市では西宮市(98.3%)、町では多可町、佐用町、香美町(97.1%)
- 徴収率が最も低い団体は、市では淡路市(92.5%)、町では稲美町(93.4%)



徴収率（個人住民税）の対前年度比較

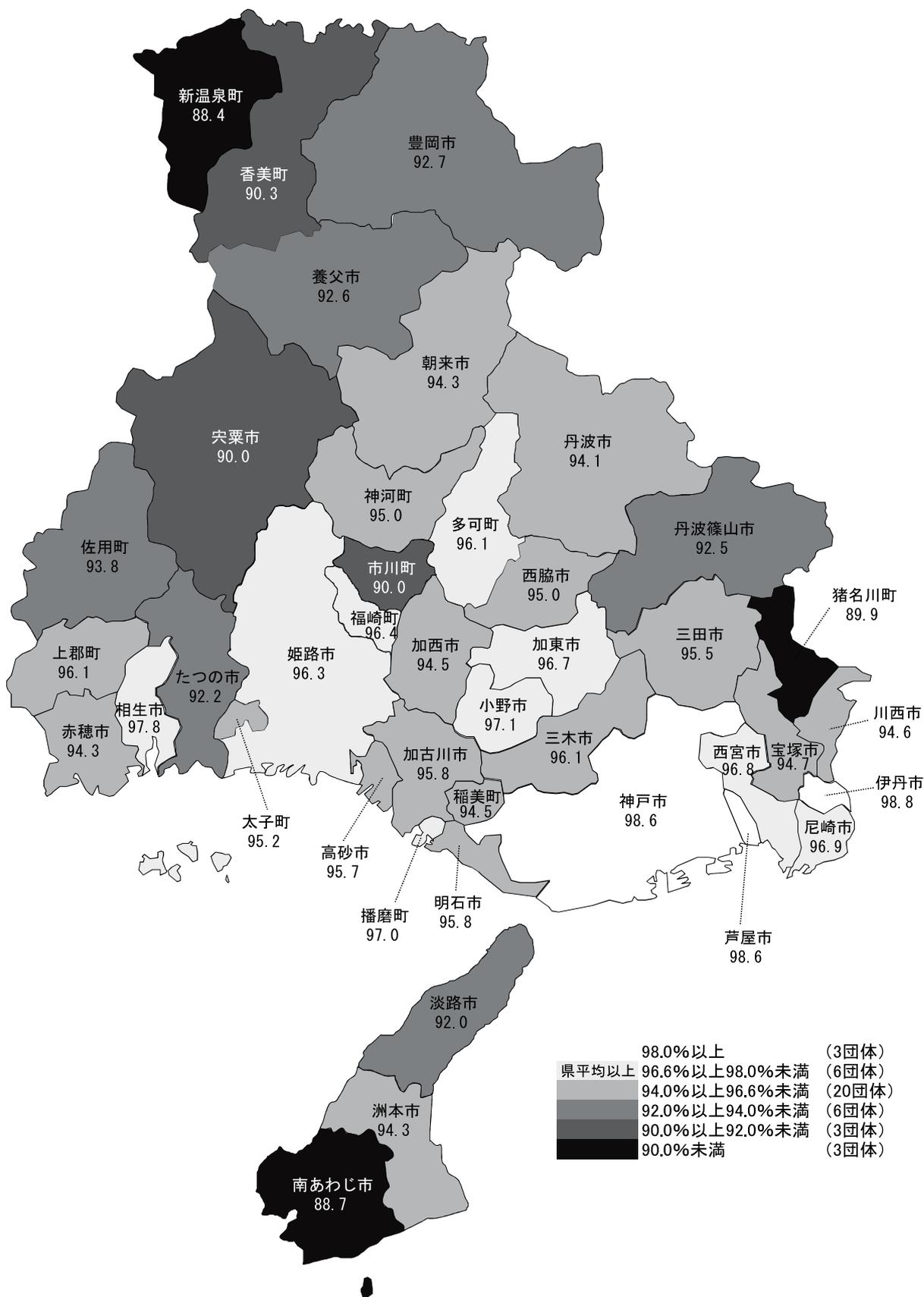
【資料8】

■前年度から徴収率が減少したのは1団体、増加したのは38団体。
 ■最も増加したのは丹波篠山市(1.8%)最も減少したのは相生市(▲0.2%)



平成30年度兵庫県内各市町の徴収率（固定資産税）の状況

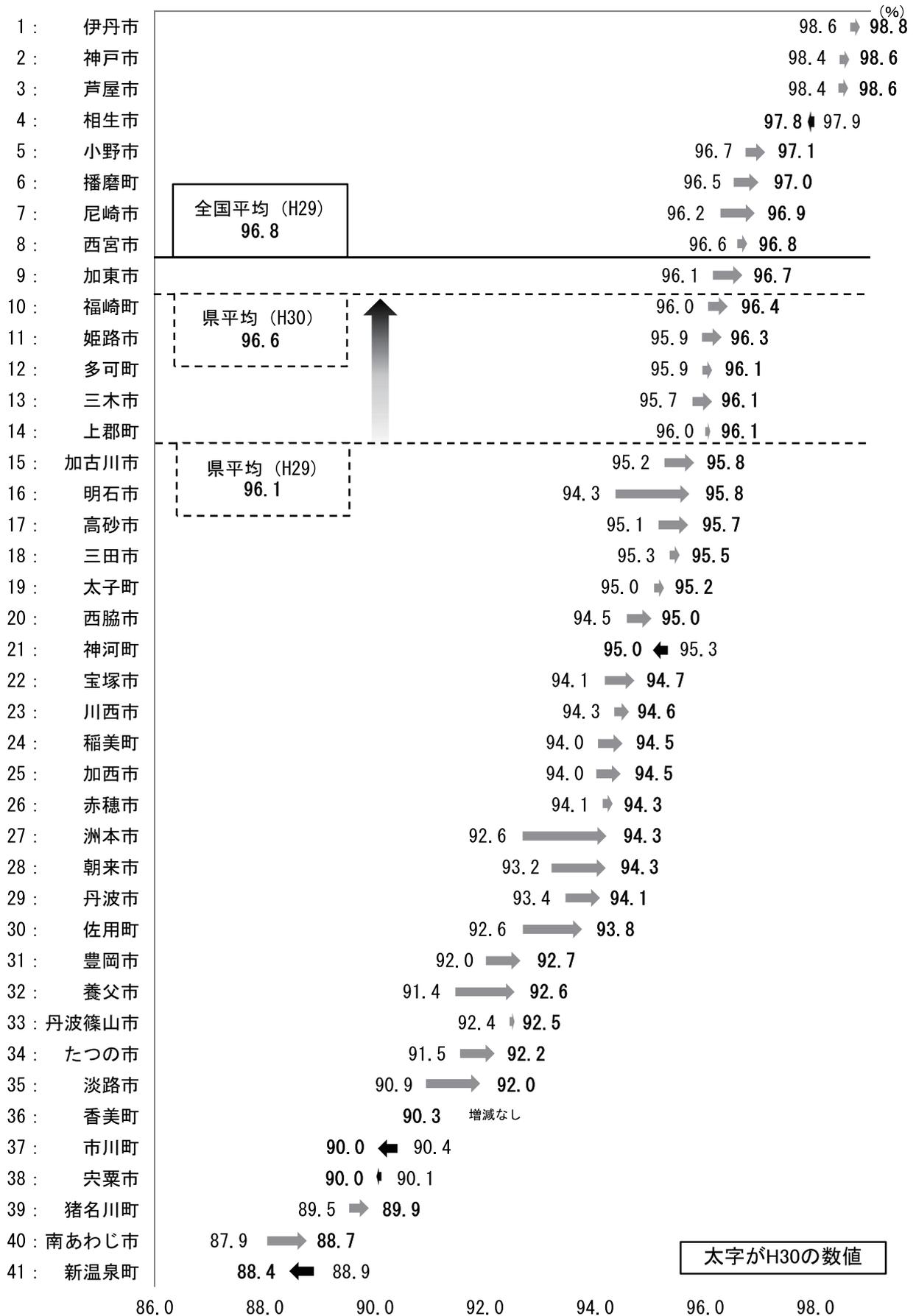
- 徴収率の県平均は96.6% (H29県平均96.1%)
- 県平均を超えているのは9団体 (H29県平均を超えていたのは12団体)
- 徴収率が最も高い団体は、市では伊丹市 (98.8%)、町では播磨町 (97.0%)
- 徴収率が最も低い団体は、市では南あわじ市 (88.7%)、町では新温泉町 (88.4%)



徴収率（固定資産税）の対前年度比較

【資料10】

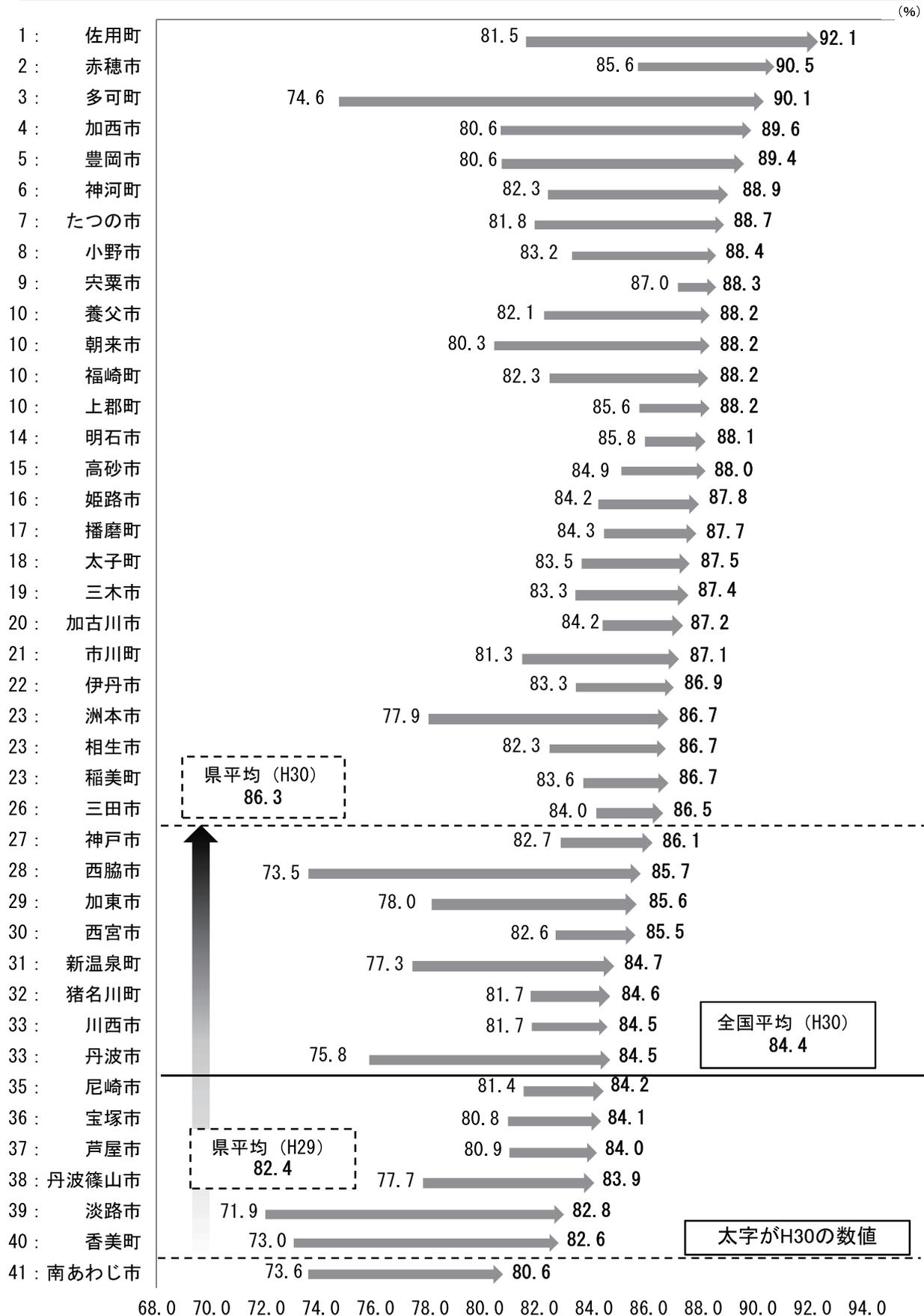
■前年度から徴収率が減少したのは5団体、増加したのは35団体。
 ■最も増加したのは洲本市（1.7%）最も減少したのは新温泉町（▲0.5%）



特別徴収実施率の対前年度比較

【資料11】

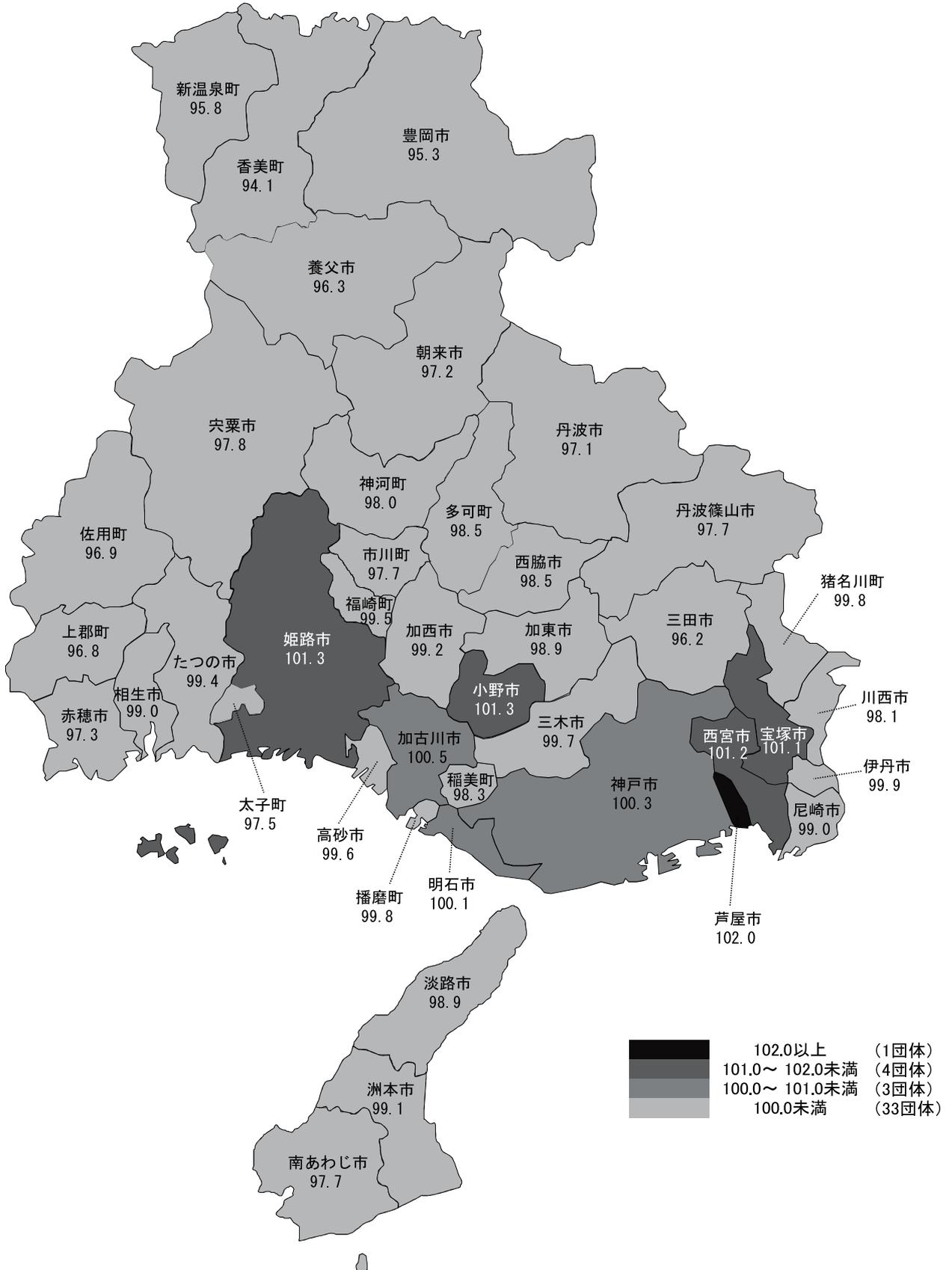
■前年度からの比率は、全41団体で増加した。
 ■最も増加したのは多可町(15.5%)。



※特別徴収実施率=給与所得者のうちの特別徴収で納付している人数/給与所得者の納税義務者数

平成31年兵庫県内各市町のラスパイレス指数の状況 (H31.4.1)

- ラスパイレス指数※が100.0以上の団体は、芦屋市(102.0)、姫路市(101.3)など8市町。
- ラスパイレス指数が100.0未満の団体は香美町(94.1)など33市町。



※ ラスパイレス指数: 国家公務員一般行政職の俸給月額を100とした場合の地方公務員一般行政職の給与水準

平成31年ラスパイレス指数の対前年比較

【参考資料②】

